



港湾請負工事積算基準の改訂について

(前)国土交通省港湾局技術企画課建設企画室 建設調査係長 わきさか たかし
脇阪 節

国土交通省港湾局では、国による港湾・海岸土木請負工事の発注に当たり、その予定価格の基礎となる積算価格を適正に算出するために「港湾請負工事積算基準」を制定している。この積算基準は、毎年、施工実態等を調査・分析し、社会情勢の変化、工事規模の大型化・多様化、さらには技術革新等の施工環境の変化に迅速かつ適切に対応するために所要の改訂を行っている。

1. はじめに

港湾工事は、施工場所の大部分が海上や海中であるため陸上土木工事に比べて気象・海象条件等の影響を受けやすく、また、施工規模の大型化や建設地の沖合展開、早期供用への対応等により、施工環境はより厳しいものとなってきている。このような条件下での港湾・海岸工事の工事費を適正に算出するために、国土交通省港湾局では、標準的な施工形態を「港湾請負工事積算基準」(以下「積算基準」という)として制定している。この積算基準は、毎年、施工実態等を調査・分析し、施工環境等の変化に迅速かつ適切に対応するために所要の改訂を行っている。

また、積算基準の編成は、「港湾工事共通仕様書」と同様に工事内容の細分化方法を工種の分類ごとに標準的に規定した「港湾工事工種体系」に

合わせており、工事内容が受注者、発注者双方にとって分かりやすいものにし、契約内容や事務処理手続きの明確化に努めている。

2. 実態調査の概要

積算基準改訂の基礎調査として実施されている施工情報調査の概要は、以下のとおりである。

(1) 施工情報調査

施工情報調査は施工実態を調査・分析するもので、積算基準が施工実態を適正に反映しているかを検討するための最も重要な情報の一つである。従来は国土交通省発注工事を対象に調査を実施してきたが、サンプル数をより確保するため、平成16年度からは各都道府県等港湾管理者にも調査に協力していただいている。

① モニタリング調査

モニタリング調査は、次に述べる詳細調査および解析中の工種以外の全工種を対象に実施するもので、施工実態と積算基準との整合度合いを概略的に把握し、詳細調査の必要性を判断するものである。

② 詳細調査

モニタリング調査の結果等により、施工実態と積算基準とに乖離が認められると判断される場合

に、該当工種について詳細に調査を行うものである。積算基準の改訂は、この調査結果を分析し、現行積算基準との比較検討を行った結果を反映したものである。

(2) 未制定歩掛の調査

積算基準に歩掛が設定されていない工種のうち、汎用性が高く歩掛設定の要望が強い工種については、必要に応じ実態調査を実施し、積算基準に反映している。

(3) 作業船稼働実態調査

港湾工事で使用する各種作業船の機械経費を算定するための基準として「船舶および機械器具等の損料算定基準」を定めているが、その基礎調査として、民間各社が保有する作業船の稼働実態を調査するものである。

(4) その他の調査

積算基準に関係する調査のうち、港湾・海岸工事以外の工事と共通する事項については、国土交通省の他部局や農林水産省等と共同で調査を行っている。積算基準については、2省共同調査として、主に陸上の工種について、農林水産省と国土交通省（河川、道路、港湾、空港等）とが共同で施工実態を調査・分析している。港湾請負工事積算基準に制定されている該当工種については、この調査結果を反映している。

その他、公共事業労務費調査、間接工事費等諸経費動向調査を毎年実施しており、積算基準をより充実させるとともに、各関係部局、省庁との整合を図るなどの調整を行っている。

3. 平成25年度積算基準の主な改訂点

(1) 実態調査等に基づく改訂

施工実態調査および共同調査等に基づき、検

討、分析を行い、現行基準と施工実態とに開きの見られる工種について改訂した。

- ① 浚渫・土捨工 [バージアンローダ揚土]
- ② 浚渫・土捨工 [空気圧送揚土]
- ③ 基礎工 [捨石本均し・荒均し (陸上)]
- ④ 被覆・根固工 [被覆均し (陸上)]
- ⑤ 裏込工 [裏込均し (Ⅰ, Ⅱ) (陸上) 工]
- ⑥ 陸上地盤改良工 [固化工 : スラリープラント
現場内移設]
- ⑦ 維持補修工 [ペトロータム被覆]
- ⑧ 市場単価 [市場単価により積算を行う工種]
[ペトロータム被覆]
- ⑨ 土質調査業務
[準備]
[足場 (海上)]
[ボーリング (海上)]
[原位置試験および乱れの少ない試料採取 (海上)]
[成果 (解析業務除く)]
[運搬]
[P・S検層]

(2) 暫定基準関係

施工実績または基礎データの不足により基準化できなかった工種（未制定工種）について、平成8年度より順次暫定基準化への検討を進めてきており、平成24年度までに18工種について暫定基準を整備し運用している。

4. おわりに

本積算基準の活用を通じて、港湾工事の標準的な積算について受注者および発注者の共通の認識が深まり、適正な事業の執行と効率的な社会資本の整備が図られることを期待し、今後とも、関係各位から寄せられるご意見等を踏まえ、より充実した積算基準にしていきたいと考えている。

[平成25年度の主な改訂内容]

第1部 港湾土木請負工事積算基準		5.2 被覆石工(被覆均し(陸上))	
		バックホウの排出ガス対策型基準値を見直し	
第1章 総則		6節 上部工	改訂なし
1節 総則	改訂なし	7節 附属工	改訂なし
2節 積算の通則	改訂なし	8節 消波工	改訂なし
第2章 工事費の積算		9節 裏込・裏埋工	改訂なし
1節 直接工事費		9.2 裏込工(裏込均し(I, II)(陸上))	
① 支給材料の計上について,文章の明確化。		バックホウの排出ガス対策型基準値を見直し	
2節 間接工事費		10節 埋立工	改訂なし
2.3 共通仮設費		11節 陸上地盤改良工	改訂なし
2.4 現場管理費		11.2 陸上地盤改良工	
① 仙台塩釜港の統合(国際拠点港湾化)に伴う施工地域区分の設定方法を記載。		(固化工:スラリープラント現場内移設)	
		ラフテレーンクレーンの排出ガス対策型基準値を見直し	
第3章 直接工事費の施工歩掛		12節 土工	改訂なし
1節 浚渫・土捨工(バージアンローダ揚土)		13節 舗装工	改訂なし
① 能力係数E4における作業時間区分の適用明細の見直し		14節 維持補修工	
② 循環方式による場合の附属装備(発動発電機・水中ポンプ)の規格,および台数の見直し。		参考資料-2 (ペトロラタム被覆)	
1節 浚渫・土捨工(空気圧送揚土)		歩掛の市場単価化	
① 能力係数E4の変更		15節 構造物撤去工	改訂なし
② 能力係数E4における作業時間区分の適用明細の見直し		16節 仮設工	改訂なし
2節 海上地盤改良工	改訂なし	17節 雑工	改訂なし
3節 基礎工		第4章 市場単価	改訂なし
4.基礎捨石工(捨石本均し・荒均し(陸上))		第5章 間接工事費の施工歩掛	
バックホウの排出ガス対策型基準値を見直し		1節 回航・えい航費	
4節 本体工	改訂なし	2節 運搬費	改訂なし
5節 被覆・根固工		3節 準備費	改訂なし
		4節 事業損失防止施設費	改訂なし
		5節 安全費	改訂なし
		6節 役務費	改訂なし

7節	技術管理費	改訂なし
8節	水雷・傷害等保険料	
8.2	水雷保険料	
①	保険料対象価格の見直し	
9節	営繕費	改訂なし
10節	イメージアップ経費	改訂なし

第2部 その他の積算基準

第1編	設計等業務	改訂なし
第2編	測量・調査等業務	
1節	測量業務	改訂なし
2節	水域環境調査業務	改訂なし
3節	陸域環境調査業務	改訂なし
4節	環境生物調査業務	改訂なし
5節	磁気探査業務	改訂なし
6節	潜水探査業務	改訂なし

第3編 土質調査業務

1節 土質調査業務

【準備】

- ① 調査準備の歩掛見直し

【足場（海上）】

- ① 足場組立解体（スパット台船）の歩掛見直し
- ② 足場設置・撤去・移設（スパット台船）の歩掛見直し
- ③ 足場設置・撤去（単管足場）の歩掛見直し
- ④ 足場（鋼製檣）の組立解体および設置・撤去・移設
本編から参考資料（暫定歩掛）へ格下げ

【ボーリング工（海上）】

- ① 標準ボーリング長の能力見直し
- ② 孔径46mm，孔径97mmの歩掛
本編から参考資料（暫定歩掛）へ格下げ

【原位置試験および乱れの少ない試料採取（海上）】

- ① 1日当たりの標準作業能力の見直し

【成果（解析業務除く）】

- ① 報告書作成費の歩掛見直し

【運搬】

- ① 機材運搬の歩掛見直し
- ② 足場（鋼製檣）の運搬
本編から参考資料（暫定歩掛）へ格下げ
- ③ 試料運搬の歩掛見直し

【P・S検層】

- ① P・S検層の歩掛見直し
- ② P・S検層成果（解析業務）の新規歩掛作成

第4編 船舶および機械器具の借上費

1節 船舶および機械器具の借上費 改訂なし

単価表

- ① 【空気圧送船】
単価表の見直し
- ② 【水中ポンプ】
バージアンローダ揚土の循環方式における付属装備の変更に伴う規格の変更
- ③ 【リクレーマ船】
単価表の見直し